

防災への意識改革 vol.280

⚡ 防災行政無線の情報は電話でも 防災行政無線が聞き取りにくい場合は、☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

▶▶ 避難所体験事業が行われました ◀◀

災害や避難所について学ぶ避難所体験事業「防災ナイトスクール」と「避難所キャンプに参加しよう」が、7月23日と24日に英比小学校で開催されました。事業の一部を紹介します。

～防災ナイトスクール～

【非常持ち出し袋の点検】



指導者の非常持ち出し袋の自身を紹介しました。年齢に合った袋の重量の説明もありました。

【防災マップの説明】



役場職員が防災マップの説明をし、参加者と避難所・避難場所の確認を行いました。その後、防災について学ぶ〇×クイズをしました。

【炊き出しご飯の試食】



町赤十字奉仕団が、ハイゼックスや Hanson といった炊き出しで使う道具で調理したカレーライスの試食を行いました。

【防災講話「家族と学ぶ防災」】



近藤ひろ子先生の講演があり、防災について必要な知識や地震が起きた時に取るべき行動、避難生活で起こる問題などを学びました。

～避難所キャンプ～

【避難所用間仕切りモデル組立実演】



宿泊体験をする参加者は、「防災ボランティアあぐい」の指導を受け、プライベート空間を確保するための段ボール間仕切りで壁を作りました。

【避難所となる学校体育館に宿泊】

午後10時ごろ就寝。床は板張りで固く、多くの参加者が寝付くまで時間がかかり、熟睡できなかったようです。

【朝食としての保存食準備・試食】

起床後、参加者は朝食として、お湯を入れて作る保存食の準備をしました。でき上がるま

での時間を使ってラジオ体操を行い、固くなった体をほぐしました。

【発電機始動体験と放水体験】



各小学校の防災倉庫にある発電機の使い方を習い、始動体験を行いました。半田消防署阿久比支署の協力を得て、放水体験も行いました。

【参加者の声】

▽避難所は暑いうえ、足音や物音、床の硬さなどで心が休まる場所ではないことがよく分かりました。

▽実際の避難所は、もっと大変だと思います。今回少しでも、体験できて良かったです。

【事業を終えて】

大規模災害時には、避難所を避難者自ら運営することになるかもしれません。もしもの時に備え、防災のイベントや訓練に積極的に参加し、自身の防災力を高めましょう。



「住民税1%町民予算枠制度」わくわくアイデア・コラボ事業